



# 政務活動報告書

令和3年11月19日

〔会派名：心風会〕

代表者氏名	幸松 孝太郎 	記録者氏名	幸松 孝太郎 
研修者氏名	幸松 孝太郎		
研修日	令和3年11月10日(水)～令和3年11月11日(木)		
研修先	東京都 六本木アカデミーヒルズ 主催：マニフェスト大賞実行委員会		
目的	第16回マニフェスト大賞の授賞式において、トップランナーに学ぶ受賞事例研修会を通じて、今後の名張市議会の改革や議員の役割などを考えることが目的である。		

## 研修概要

### (1) 開催要領

第16回マニフェスト大賞の受賞事例研修会の模様をライブ配信の視聴

■日時： 2021年11月10日～11日

■会場：YouTubeにて生中継

※新型コロナウイルス拡大防止の対応として、受賞者の方も含めオンライン参加をお願いします。

#### ■プログラム内容

##### ●開会

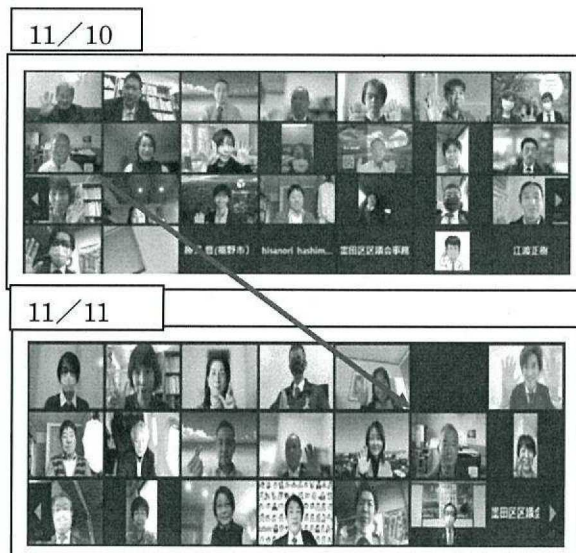
- ・主催者・来賓挨拶、協賛企業紹介等
- 優秀賞表彰、最優秀賞発表、表彰
- ・優秀躍進賞
- ・優秀コミュニケーション戦略賞
- ・優秀政策提言賞
- ・優秀成果賞
- ・優秀マニフェスト推進賞<議会部門>
- ・優秀マニフェスト推進賞<首長部門>

##### ●プレゼンテーション

- ・最優秀賞受賞者(3分間×7団体)
- ・グランプリ
- ・総括



## (2) プログラム案内と参加画像



## (3) 表彰内容

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会・首長等や地域主権を支える市民等の、優れた活動を募集し、表彰することにより、地方創生を推進する方々に荣誉を与え、さらなる意欲向上を期するとともに、優れた取り組みが広く知られ、互いに競うようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を広げるために設けられたもの。

### 第16回 マニフェスト大賞 最優秀賞 一覧

第16回マニフェスト大賞最優秀賞は、応募総数2,730件から選ばれた優秀賞35件の取り組み中、最優秀受賞と講評は、下記の通りです。

#### ■最優秀マニフェスト推進賞<首長部門>

・加賀市長 宮元 陸 (石川県加賀市) 最優秀マニフェスト賞を受賞

1期目のマニフェスト「政策提言 加賀は変わる」をバージョンアップさせた2期目のマニフェスト「みやもと陸の政策提言 Ver.2」を作成し、市ホームページで公表した。2期目の中間である2019年8月に加賀市長公約評価委員会を組織し、中間の外部検証を実施。2021年7月には1期目に続き「マニフェスト検証大会」を開催。外部検証を実施し、検証結果をまとめた冊子を作成し市民に配布するとともに、市ホームページで「マニフェスト検証大会」の資料を公表した。ストサイクルの遂行に向けて進捗を本人HPで随時更新するとともに、住民や職員との一層の合意形成、および財政計画等との整合性を図るために総合計画への落とし込みを進めている。

#### ■最優秀マニフェスト推進賞<議会部門>

・出産議員ネットワーク・子育て議員連盟 (東京都豊島区) 今年度のグランプリを受賞

出産・育児等家庭生活と議員活動の両立のための体制整備のための要望活動を行い、昨年12月閣議決定の「第5次男女共同参画基本計画」への反映、本年1～2月の全国3議長会の標準議会会議規則の改正、本年6月の「政治分野における男女共同参画推進法」の改正法に反映される。単に要望を行うのではなく、代表による全国調査の結果や現状分析を示し、論点を整理した上で関係各所との意見交換の場を設けるなどして計画への反映や法規の整備に繋がった。

#### ■優秀政策提言賞

・足立区議会議員 小椋 修平 (東京都足立区)

2020年4月、超党派の自治体議員ネットワーク「コロナ災害対策自治体議員の会」を片山薫小金井市議と共に立ち上げ約200名が参加、共同代表に就任。「新型コロナ災害緊急アクション」に加盟し、困窮者からのSOSに対して現地駆けつけスタッフとして活動。生活保護申請を妨げている要因である扶養照会の実績を全国で初めて明らかにし、数多くのメディアに掲載、改善に繋げる。研修会・セミナー開催、メディア発信、困窮者支援と生活保護行政の改善に取り組む。



## ■最優秀成果賞

### ・遊佐町少年町長・少年議員公選事業（山形県遊佐町）

遊佐町少年議会は第19期目を迎えた。特徴は、町内在住・在学の中高生の有権者が全員で投票する点。さらに、自らの政策を掲げ、政策を決めるにあたって有権者を対象にアンケート調査を行っている。このアンケートを参考に今年度の政策を掲げ、政策実現のために活動する。毎年、若者の視点から町政への政策提言を行っています。さらに独自の政策予算をもつ。第18期少年議会では45万円の政策予算が町から与えられている。毎年、若者の視点から町政への政策提言を行っている。

### ・大津市議会（滋賀県大津市）プレゼンテーション第3位を受賞

新型コロナウイルス感染症のクラスターが本庁舎内で発生し、2020年4月末から5月初旬まで本庁舎への立入制限がされるといふ非常事態に直面した。もし、それが会期中であれば本会議が開催不能となり、全議案の専決処分さえも想定された。この教訓を活かし、コロナ禍の状況下でも議決機関としての機能発揮を担保するため、オンライン本会議の実現に向けて、大津市議会独自に実務的実現可能性の検証や法整備のための活動を展開してきたものである。

## ■最優秀躍進賞

### ・西条市議会（愛媛県西条市）

議員間討議による意思決定を行うための特別委員会を設置し、議会改革を推進し議会機能の更なる活性化に向けた取組を行う。平成23年度から毎年度開催している政策提言会は、提言の実施単位を会派及び会派に属さない議員とすることで、議員一人一人が広く市政全般における諸課題に向き合い、精査することで、提言内容にいつその実現性を持たせようとするものである。また、複雑化する議会事務局業務の見直しも行い、大幅な時間外勤務時間の削減にも成功している。

## （4）特に印象に残った優秀賞

### 1. 取手市議会・同議会事務局（茨城県）

連名でのマニフェスト推進賞の議会部門で優秀賞を受賞しました。取手市議会では、議員と議会事務局が互いに深い信頼関係を構築し、一致団結して数々の取り組みを行ってきた。今回の受賞は、議員・議会事務局がチーム議会となり、議会愛をもって活動してきた、まさに市議会の特徴を体現する形での受賞となり、プレゼンテーション第1位も受賞。

発表内容の概要は、官民学連携による新しい民主主義を創造する「デモテック戦略」、また、その延長線上にある「音声テック」事業を官民連携で協定を締結し、AI音声認識技術を用いた新しい議会の仕組みづくりにもチャレンジしていたこと。「議会の中に住民がいる。住民の中に議会がある。」の取り組みを、ICTを活用した議会や中学生のオンライン議会、高校生等住民との協働による議事録作成・議会参加によって実施しており、一度視察に行ってみたい市議会である。

### 2. 知立市議会（愛知県）もっと開け！市民のための議会

議会モニター制度は、市議会の機能強化の一環として、市民の意見を活用し、よりよい議会運営を目指す「議会モニター制度」を令和3年度より導入した。7名の方に「議会モニター」として就任していただき、定例会などの会議や議会報告会を傍聴した感想などを、正副議長、正副議会改革特別委員長との懇談会で意見をいただいている。

また、7月に行った市議会だより編集委員会との意見交換会においては、議会の広報紙やホームページ等について、市民目線からの様々な意見を伺うことができた。次に、高校生議会選挙年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものとなった高校生に、議会活動を体験してもらい、地方自治への関心を高めてもらうとともに、高校生の視点から広くまちづくりについての意見を聞き協議する機会を設けることを目的として「高校生議会」を開催した。

市内にある3つの高校から選出された生徒が高校生議員となり、次のような流れで実施した。

#### ①. 本会議（前半）

各校の代表質問（各校で話し合ってきた課題についての質問）を行う。

#### ②. 委員会

各校別の委員会を設置しそれぞれに市議会議員が分かれて参加し、課題について一緒に協



議する。

③. 本会議（後半）

委員会での協議結果を報告する。

市議会として初めての開催であったため、模索しながらではありましたが、高校生からの積極的な発言を促すことができた。

(5) 所感

本年度始めて、マニフェスト大賞に選ばれた各優秀受賞者の3分間の発表を2日間聞いた。政策本位の政治を目指す「第16回マニフェスト大賞」（同賞実行委員会主催、毎日新聞社・早稲田大学マニフェスト研究所共催、株式会社共同通信社後援）の事例研修会が2日間行われた。

東京都港区の六本木アカデミーヒルズを拠点にリモートで行われ、グランプリの大賞は最優秀マニフェスト推進賞（議会）に選ばれた「出産議員ネットワーク・子育て議員連盟」に決まった。出産議員ネットワーク・子育て議員連盟は、出産・育児などの家庭生活と議員活動を両立させる体制整備を目指し、全国3議長会などに要望活動を続けている。全国の超党派議員約250人で構成。現場の声や条例・規則の問題点を具体的に指摘し、今年の標準議会会議規則の改正や政治分野における男女共同参画推進法の改正に反映させた。代表の永野裕子・東京都豊島区議は「上意下達ではなく、議会の主体性を高めたい」と述べた。個人や会派といった従来からの枠を超えて、あらゆる課題に超党派で取り組んだことが受賞の理由といえるが、個別課題の達成だけではなく、こうした方向性をも評価していただいたのではないかな。

今回の研修では、特に議会と議会事務局とのチーム議会を中心に、議会の変革や、先進的な議会の取組みなど政策本位の政治、生活者起点の政策を推進する取組みについて考えることができた有意義な研修であった。

以上

<参考>

**メディアでも話題に。**

受賞の記事が各種新聞を中心としたメディアで掲載されます。また、大会冊子やホームページにて掲載され、広く自治体・メディア等に周知されます(受賞者には賞状とトロフィーが贈呈されます)。



毎日新聞をはじめ、各種メディアでも取り上げられました。

その他、入賞者はマニフェスト大賞の取組をまとめた冊子に掲載されます。